

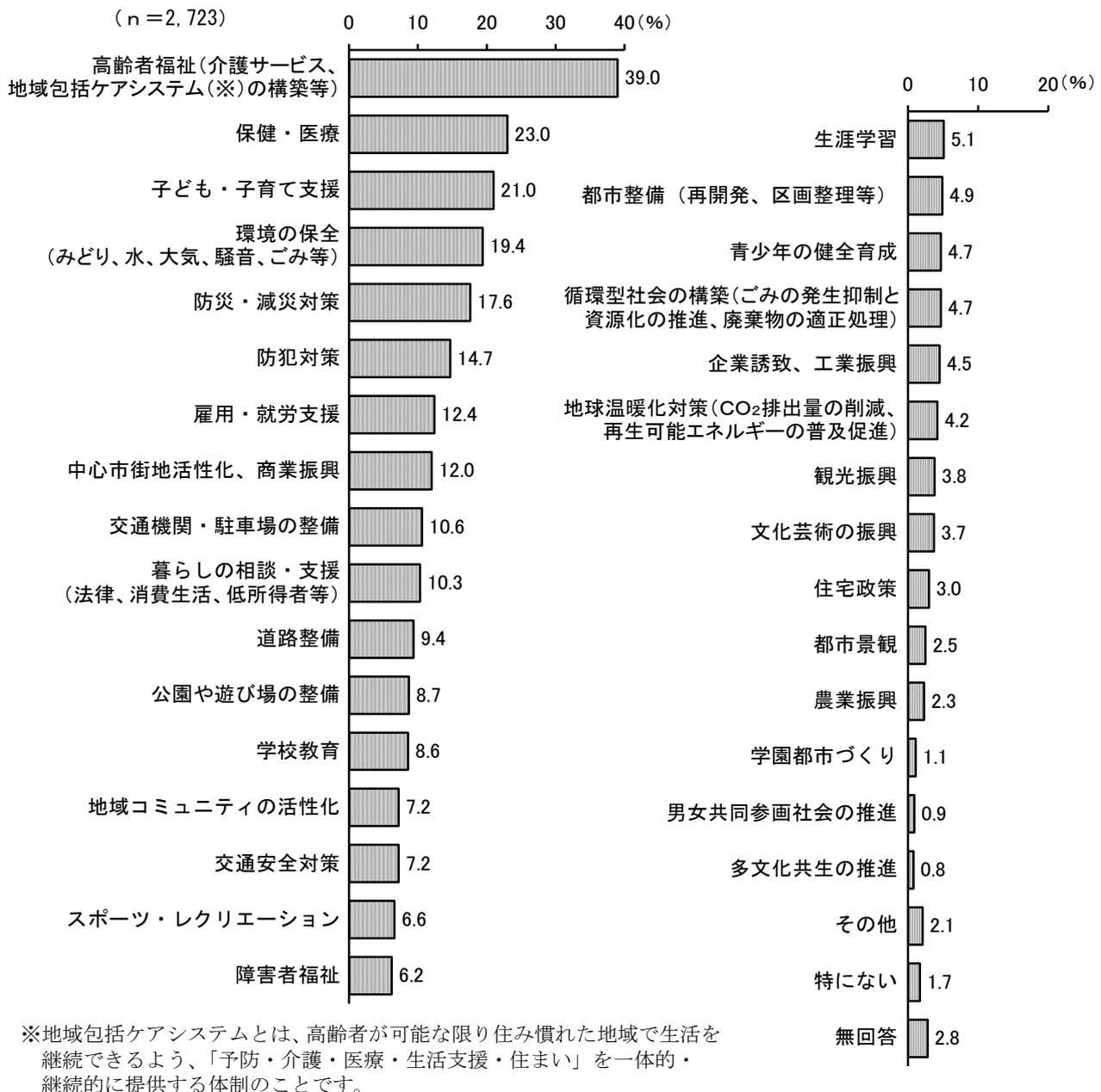
## 5. 市政への要望

### (1) 重点施策要望

◇「高齢者福祉（介護サービス、地域包括ケアシステムの構築等）」が4割弱

問48 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～33の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

図5-1-1 重点施策要望－全体



市政全般において、特に力を入れてほしいと思う施策を、3つまで順位をつけて聞いたところ、「高齢者福祉（介護サービス、地域包括ケアシステムの構築等）」（39.0%）が最も多く4割弱となっている。次いで「保健・医療」（23.0%）、「子ども・子育て支援」（21.0%）、「環境の保全（みどり、水、大気、騒音、ごみ等）」（19.4%）などの順となっている。（図5-1-1）

図5-1-2 重点施策要望一経年順位比較（上位10位）

| 年<br>順位 | 平成23年                              | 平成24年                         | 平成25年                       | 平成26年                         | 平成27年                                   |
|---------|------------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------------------------------------|
| 第1位     | 高齢者福祉<br>(33.5)                    | 財政の健全化<br>(26.4)              | 高齢者福祉<br>(32.4)             | 高齢者福祉<br>(32.9)               | (注1)<br>高齢者福祉<br>(39.0)                 |
| 第2位     | 財政の健全化<br>(28.2)                   | 保健医療<br>(25.5)                | 財政の健全化<br>(22.7)            | 保健医療<br>(26.6)                | 保健・医療<br>(23.0)                         |
| 第3位     | 保健医療<br>(26.9)                     | 高齢者福祉<br>(24.3)               | 保健医療<br>(22.3)              | (注6)<br>財政の健全化<br>(23.2)      | 子ども・<br>子育て支援<br>(21.0)                 |
| 第4位     | 少子化対策・<br>子育て支援<br>(15.7)          | 少子化対策・<br>子育て支援<br>(20.2)     | 防犯対策<br>(17.2)              | 防犯対策<br>(20.8)                | (注2)<br>環境の保全<br>(19.4)                 |
| 第5位     | 防犯対策<br>(15.2)                     | 防災対策<br>(16.8)                | 少子化対策・<br>子育て支援<br>(16.1)   | 少子化対策・<br>子育て支援<br>(18.7)     | 防災・減災対策<br>(17.6)                       |
| 第6位     | 商・工業などの<br>地域経済対策<br>(13.3)        | 防犯対策<br>(14.4)                | 防災対策<br>(14.7)              | 防災対策<br>(16.0)                | 防犯対策<br>(14.7)                          |
| 第7位     | 防災対策<br>(12.9)                     | 学校教育<br>(13.9)                | 介護保険<br>(13.8)              | 介護保険<br>(14.2)                | (注3)<br>雇用・就労支援<br>(12.4)               |
| 第8位     | 介護保険<br>(12.8)                     | 商・工業などの<br>地域経済対策<br>(13.4)   | 学校教育<br>(13.0)              | 学校教育<br>(12.1)                | (注4)<br>中心市街地活<br>性化、商業振<br>興<br>(12.0) |
| 第9位     | 社会福祉(ひとり<br>親、低所得者)<br>(12.5)      | 社会福祉(ひとり<br>親、低所得者)<br>(13.0) | 商・工業などの<br>地域経済対策<br>(12.2) | 社会福祉(ひとり<br>親、低所得者)<br>(11.3) | 交通機関・<br>駐車場の整備<br>(10.6)               |
| 第10位    | 緑の保全や公園<br>の整備(12.0)<br>学校教育(12.0) | 緑の保全や<br>公園の整備<br>(12.9)      | 緑の保全や<br>公園の整備<br>(11.5)    | 道路整備<br>(10.3)                | (注5)<br>暮らしの相談・<br>支援(10.3)             |

⑫                      ⑫ ⑪                      ⑪ ⑬                      ⑪ ⑬                      ⑫ ⑬                      ⑪ ⑬

- (注1) 「高齢者福祉（介護サービス、地域包括ケアシステムの構築等）」は、前回調査以前の「高齢者福祉」と「介護保険」の2つの施策名を統合したもの。
- (注2) 「環境の保全（みどり、水、大気、騒音、ごみ等）」は、前回調査以前の「緑の保全や公園の整備」、「下水道処理」、「公害防止対策」、「不法投棄・放置対策（自動車、自転車、バイク、ごみ等）」の4つの施策名を統合したもの。
- (注3) 「雇用・就労支援」は、今回調査で新設した施策名である。
- (注4) 「中心市街地活性化、商業振興」は、前回調査以前の「商・工業などの地域経済対策」の施策名を、「中心市街地活性化、商業振興」と「企業誘致、工業振興」の2つの施策名に分割したもののうちの1つ。
- (注5) 「暮らしの相談・支援（法律、消費生活、低所得者等）」は、前回調査の「社会福祉（ひとり親、低所得者）」と「消費者保護」の2つの施策名を統合したもの。
- (注6) 前回調査以前の「財政の健全化」は、今回調査から「行財政改革」を併せて、問49で「行財政運営」として別に質問を新設したため、施策名から除いた。

経年での順位の変化については、今回調査で施策名を大幅に見直したため参考にとどまるが、前回調査に引き続き「高齢者福祉」が第1位、「保健・医療」が第2位となっている。（図5-1-2）

図5-1-3 重点施策要望—性別・年齢別

(%)

| 属性       | 順位 | n     | 第1位                   | 第2位                 | 第3位                     | 第4位                     | 第5位                                |
|----------|----|-------|-----------------------|---------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------------------|
| 全体       |    | 2,723 | 高齢者福祉<br>(39.0)       | 保健・医療<br>(23.0)     | 子ども・子育て支援<br>(21.0)     | 環境の保全<br>(19.4)         | 防災・減災対策<br>(17.6)                  |
| 男性       |    | 1,206 | 高齢者福祉<br>(34.8)       | 保健・医療<br>(20.8)     | 環境の保全<br>(20.6)         | 子ども・子育て支援<br>(17.2)     | 防災・減災対策<br>(16.9)                  |
| 女性       |    | 1,401 | 高齢者福祉<br>(42.6)       | 保健・医療<br>(24.7)     | 子ども・子育て支援<br>(24.4)     | 環境の保全<br>(18.7)         | 防災・減災対策<br>(18.0)                  |
| 男性20～29歳 |    | 88    | 交通機関・駐車場の整備<br>(29.5) | 雇用・就労支援<br>(26.1)   | 環境の保全<br>(21.6)         | 子ども・子育て支援<br>(20.5)     | 学校教育<br>(17.0)                     |
| 30～39歳   |    | 130   | 子ども・子育て支援<br>(40.8)   | 保健・医療<br>(20.0)     | 環境の保全<br>(18.5)         | 学校教育<br>(17.7)          | 雇用・就労支援/公園や遊び場の整備<br>(16.2)        |
| 40～49歳   |    | 199   | 子ども・子育て支援<br>(30.2)   | 保健・医療<br>(22.6)     | 防犯対策<br>(19.6)          | 高齢者福祉<br>(18.6)         | 環境の保全/防災・減災対策<br>(16.1)            |
| 50～59歳   |    | 194   | 高齢者福祉<br>(35.6)       | 環境の保全<br>(23.2)     | 防災・減災対策<br>(21.1)       | 保健・医療<br>(20.1)         | 防犯対策/中心市街地活性化、商業振興<br>(17.0)       |
| 60～64歳   |    | 144   | 高齢者福祉<br>(42.4)       | 環境の保全<br>(23.6)     | 保健・医療/防災・減災対策<br>(21.5) |                         | 子ども・子育て支援/防犯対策<br>(15.3)           |
| 65歳以上    |    | 451   | 高齢者福祉<br>(53.0)       | 保健・医療<br>(22.2)     | 環境の保全<br>(20.8)         | 防災・減災対策<br>(15.5)       | 暮らしの相談・支援<br>(14.6)                |
| 女性20～29歳 |    | 109   | 子ども・子育て支援<br>(41.3)   | 雇用・就労支援<br>(29.4)   | 保健・医療<br>(24.8)         | 高齢者福祉<br>(21.1)         | 防災・減災対策/防犯対策/交通機関・駐車場の整備<br>(16.5) |
| 30～39歳   |    | 173   | 子ども・子育て支援<br>(66.5)   | 公園や遊び場の整備<br>(27.2) | 保健・医療<br>(24.3)         | 学校教育<br>(23.1)          | 雇用・就労支援<br>(16.2)                  |
| 40～49歳   |    | 250   | 子ども・子育て支援<br>(34.0)   | 高齢者福祉<br>(30.4)     | 保健・医療<br>(24.4)         | 防災・減災対策<br>(19.2)       | 学校教育<br>(18.0)                     |
| 50～59歳   |    | 224   | 高齢者福祉<br>(48.2)       | 防災・減災対策<br>(26.3)   | 保健・医療<br>(24.6)         | 雇用・就労支援<br>(21.9)       | 環境の保全<br>(18.8)                    |
| 60～64歳   |    | 143   | 高齢者福祉<br>(52.4)       | 環境の保全<br>(24.5)     | 保健・医療<br>(21.7)         | 中心市街地活性化、商業振興<br>(18.2) | 防災・減災対策<br>(17.5)                  |
| 65歳以上    |    | 499   | 高齢者福祉<br>(58.7)       | 保健・医療<br>(25.9)     | 環境の保全<br>(22.6)         | 防災・減災対策<br>(16.0)       | 防犯対策<br>(13.6)                     |

性別にみると、男女ともに「高齢者福祉」が第1位、「保健・医療」が第2位となっており、第3位から第5位についても順位こそ異なるが同じ項目があげられている。「高齢者福祉」は女性(42.6%)が男性(34.8%)より7.8ポイント高くなっている。

性別・年齢別にみると、30～39歳と40～49歳の男女および女性20～29歳では「子ども・子育て支援」が第1位となっており、50歳以上の男女では「高齢者福祉」が第1位となっている。男性20～29歳では「交通機関・駐車場の整備」(29.5%)が第1位となっている。(図5-1-3)

図5-1-4 重点施策要望一居住地域別

(%)

| 属性                   | 順位 | n     | 第1位             | 第2位             | 第3位                 | 第4位                 | 第5位               |
|----------------------|----|-------|-----------------|-----------------|---------------------|---------------------|-------------------|
| 全体                   |    | 2,723 | 高齢者福祉<br>(39.0) | 保健・医療<br>(23.0) | 子ども・子育て支援<br>(21.0) | 環境の保全<br>(19.4)     | 防災・減災対策<br>(17.6) |
| 本庁管内<br>(中央地域)       |    | 571   | 高齢者福祉<br>(34.5) | 保健・医療<br>(22.4) | 防災・減災対策<br>(20.7)   | 子ども・子育て支援<br>(20.1) | 環境の保全<br>(18.7)   |
| 元八王子・恩方・川口<br>(西部地域) |    | 478   | 高齢者福祉<br>(37.0) | 保健・医療<br>(19.5) | 道路整備<br>(18.4)      | 子ども・子育て支援<br>(17.6) | 環境の保全<br>(16.3)   |
| 浅川・横山・館<br>(西南部地域)   |    | 519   | 高齢者福祉<br>(37.8) | 保健・医療<br>(23.1) | 子ども・子育て支援<br>(21.0) | 環境の保全<br>(18.1)     | 防災・減災対策<br>(17.7) |
| 加住・石川<br>(北部地域)      |    | 230   | 高齢者福祉<br>(45.7) | 保健・医療<br>(25.7) | 環境の保全<br>(20.9)     | 子ども・子育て支援<br>(20.4) | 防災・減災対策<br>(14.8) |
| 由井・北野<br>(東南部地域)     |    | 421   | 高齢者福祉<br>(38.0) | 保健・医療<br>(24.9) | 子ども・子育て支援<br>(24.7) | 環境の保全<br>(20.4)     | 防災・減災対策<br>(16.9) |
| 由木・由木東・南大沢<br>(東部地域) |    | 503   | 高齢者福祉<br>(44.9) | 保健・医療<br>(24.1) | 環境の保全<br>(23.1)     | 子ども・子育て支援<br>(22.7) | 防災・減災対策<br>(19.7) |

居住地域別にみると、すべての地域で「高齢者福祉」が第1位、「保健・医療」が第2位となっている。「子ども・子育て支援」は由井・北野（東南部地域）（24.7%）と浅川・横山・館（西南部地域）（21.0%）で第3位となっている。「環境の保全」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（23.1%）と加住・石川（北部地域）（20.9%）で第3位となっている。「防災・減災対策」は本庁管内（中央地域）（20.7%）で第3位となっており、「道路整備」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（18.4%）で第3位となっている。（図5-1-4）

## (2) 行財政運営

◇《《そう思う》》が3割近く

問49 市は、「持続可能な行財政運営」に向け、下欄の取り組みにより、効果・効率的な行政運営を図るとともに、財政の健全性を確保しています。あなたは、本市において「持続可能な行財政運営」が進んでいると思いますか。(○は1つだけ)

### 1. 計画行政の推進

市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」の実現に向け、向こう3か年の財政状況を見通して毎年策定する「アクションプラン」に基づく予算編成を行い、計画・実施・評価・見直しの財政マネジメントサイクルによる行政運営を進めています。これにより、施策を着実に実行し、安定的・継続的な市民サービスを供給しています。

### 2. 効率的な民間経営手法の活用と財産の有効活用

市は、これまで不断に行財政改革に取り組み、事業の外部委託など民間活力を有効に取り入れる一方、嘱託員・臨時職員など多様な雇用形態による人材を活用し、財政の健全性を確保しながら市民サービスを拡充し、新たな行政需要に対応してきました。

このほか、市民会館やこども科学館への命名権（ネーミングライツ）の導入、民間活力を取り入れた総合体育館の整備なども進めてきました。

現在実行中の「第8次行財政改革」では、①民間委託や指定管理者制度（※1）などの手法の見直し、②市民の視点からの資産の有効活用及び施設の適正管理、③公平性と透明性の視点からの受益者負担（※2）の適正化、④地方分権時代の行政運営に必要な職員を育てる人材育成、などを重点取組としています。

### 3. 健全な財政運営

財政運営にあたっては、「返す以上に借らない」という財政規律を守ることで、市の借金である市債の残高をピーク時（平成12年度）の約3,200億円から約2,200億円（25年度末）に削減しています。一方で市の貯金である基金は、将来の支出に備え積極的に積み立てを行った結果、残高は約183億円（25年度末）になりました。

今後も引き続き財政規律を守りながら、事業効果や経済効果を想定して税収の確保につながる政策を展開し、活力ある魅力あふれるまちづくりを進めます。

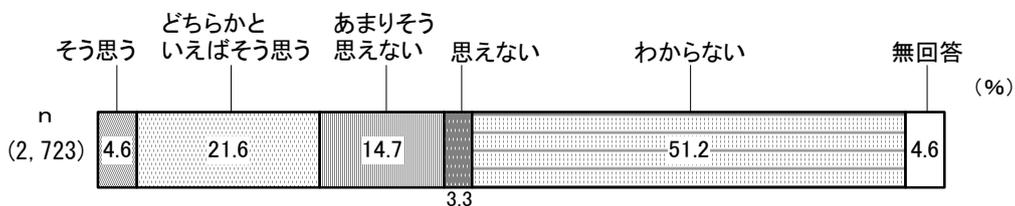
※1 指定管理者制度とは・・・

公の施設の管理運営を民間企業やNPOなどの民間セクターに広く委ねることを可能とする制度です。市では平成18年から本格実施し、現在、体育館、公園、保育園など900を超える施設に導入しています。

※2 受益者負担とは・・・

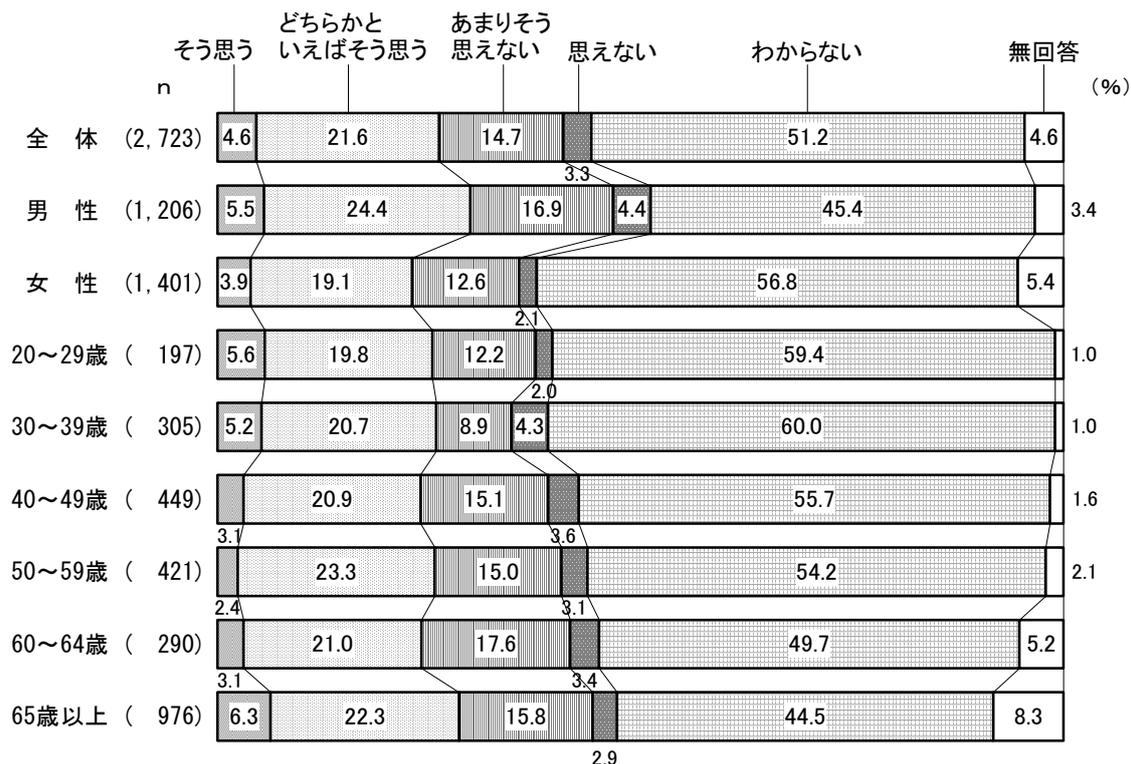
施設の利用料金や事務手数料など、特定の行政サービスを受ける方に費用の一部負担を求めることです。

図5-2-1 行財政運営－全体



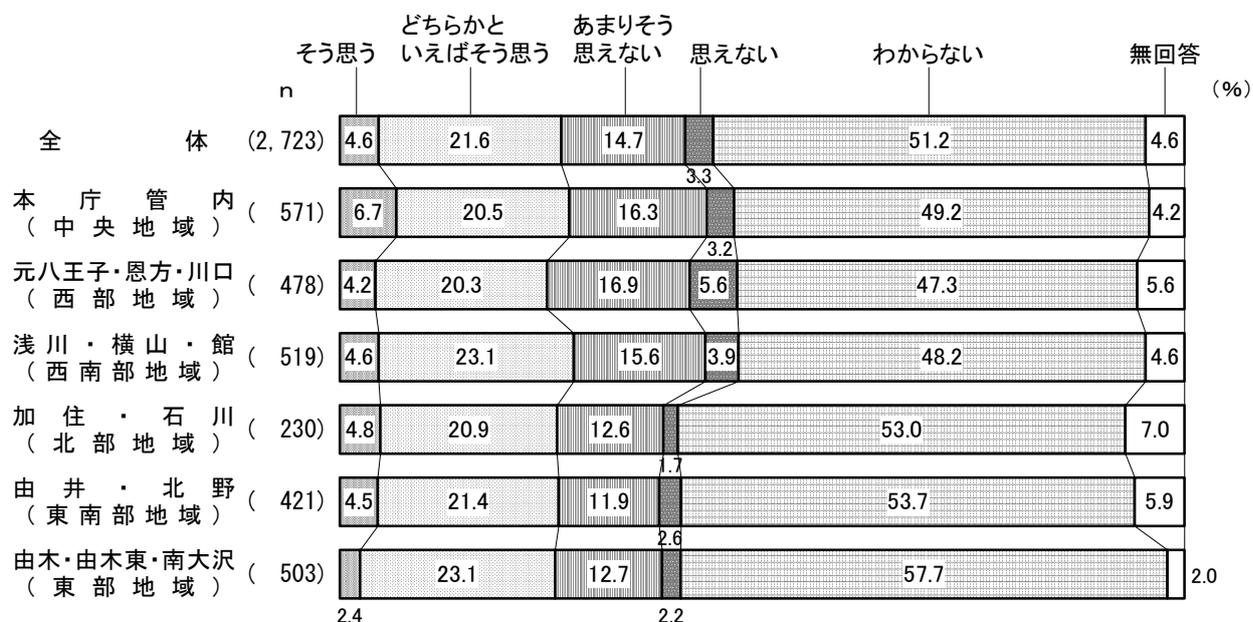
八王子市において「持続可能な行財政運営」が進んでいると思うか聞いたところ、「そう思う」（4.6％）と「どちらかといえばそう思う」（21.6％）を合わせた《《そう思う》》（26.2％）が3割近くとなっている。一方、「あまりそう思えない」（14.7％）と「思えない」（3.3％）を合わせた《《思えない》》（18.0％）が2割近くとなっている。（図5-2-1）

図5-2-2 行財政運営—性別・年齢別



性別にみると、「そう思う」は男性 (29.9%) が女性 (23.0%) より6.9ポイント高くなっている。年齢別にみると、「そう思う」は65歳以上 (28.6%) で3割近くと多くなっている。一方、「そう思えない」は60~64歳 (21.0%) で2割強と多くなっている。(図5-2-2)

図5-2-3 行財政運営—居住地域別



居住地域別にみると、「そう思う」は浅川・横山・館 (西南部地域) (27.7%) で最も多く3割近くとなっている。一方、「そう思えない」は元八王子・恩方・川口 (西部地域) (22.5%) で2割強と多くなっている。(図5-2-3)